

整理番号 S-64

出 展 織物欠点解析事例集(第2集)

欠 点 名 たて縞(張力斑)

品 名 ポリエステルジャカードサテン

試料形態 織物

組 織 紋朱子

糸 使 い

たて糸:ポリエステル 50d/24f (S)300T/m

よこ糸:ポリエステル加工糸 50d/24f

欠点発生状況

生機のほぼ全面に雨縞状のたて縞が入っている。光にすかして見るとさらにはっきりと認められる。

試料写真



試験結果

(1) マイクロスコープ観察

- ・自然光線で見えるたて縞をその位置を動かさずそのまま透過光線で見ると、たて縞がそのままたて糸の隙間となっていることが判る。

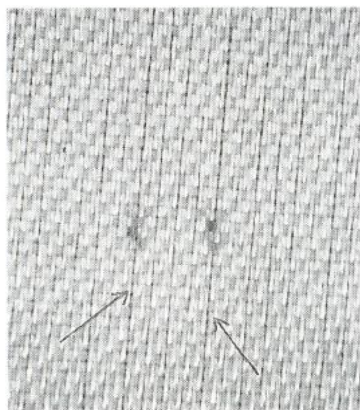


写真1 反射照明による経縞

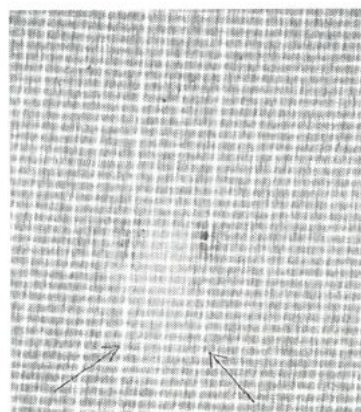


写真2 透過照明による経縞

〔参考写真〕



開口の悪い例

(2) 強伸度測定

- ・たて糸を 32 本測定したところ、強度 210～249gf、伸度 16.0～30.4%の範囲であった。

所見

肉眼及びマイクロスコープによる観察の結果、本欠点のたて縞はたて糸の間隔が不同であるための欠点であることが判明した。また、強伸度測定により伸度に相当なバラツキが認められた。現場調査の結果、製織時のたて糸がスナーリングを起こしていることが認められ、これが張力変動を生じて、たて縞となったと推察される。湿度が低いときに起き易いので、湿度管理が重要であると考えられる。なお、朱子織の場合、密度が甘いとこのような欠点が出易いが、その防止策として、例えば箒を工夫し、厚みのあるものを使用するのも一つの方法である。